

札幌市を取り巻く財政環境と今後の見通し

1 国内の経済状況と経済財政運営

- わが国の経済状況は、雇用・所得環境が改善するなかで、個人消費や設備投資の持ち直しなどにより、緩やかな景気回復が続くと期待される一方、世界的な金融引締め等による海外景気の下振れリスクや、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
- 国の「経済財政運営と改革の基本方針2023」において、コロナ禍を脱し、経済が正常化し、成長と分配の好循環を拡大していく中で、賃金や調達価格の上昇を適切に考慮しつつも、緊急時の財政支出を必要以上に長期化・恒常化させないように取り組むとしている。

2 本市における財政見通し

- 札幌市の財政状況については、「アクションプラン2023」に掲げた中期財政フレームのとおり、扶助費や公債費の増加に加えて、公共施設等の更新需要やまちのリニューアルに伴う財政需要などの大幅な増加が見込まれるなか、アクションプラン2023に計上した各事業に必要な財源を確保するとともに、将来にわたって持続可能な財政構造を維持するため、アクションプラン2023期間において歳入・歳出全般にわたる不断の見直しを実施することとしている。
- 市民生活に直結する消費者物価については、前年比4.0%を超える高水準で上昇基調が続いており、当面、上昇基調の継続が見込まれることを踏まえると、物価上昇による市民生活・地域経済への影響は予断を許さず、引き続き難しい財政運営となることが見込まれる。

令和6年度予算編成方針の基本的な考え方

- 令和6年度予算は、市長の3期目において初めて編成する本格予算であり、施政方針に掲げる「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」・「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」の2つの心豊かで明るいさっぽろの未来の実現に向けて、アクションプラン2023に掲げる取組を着実に推進していくため、中期財政フレームに基づく予算を編成。
- 事務事業の成果や手法の客観的な検証・評価を通じた事業再編・再構築を促進するとともに、物価上昇等への機動的な対応を図るため、各局のマネジメントによる事務事業の見直しを推進する仕組みを構築。

予算編成方針のポイント

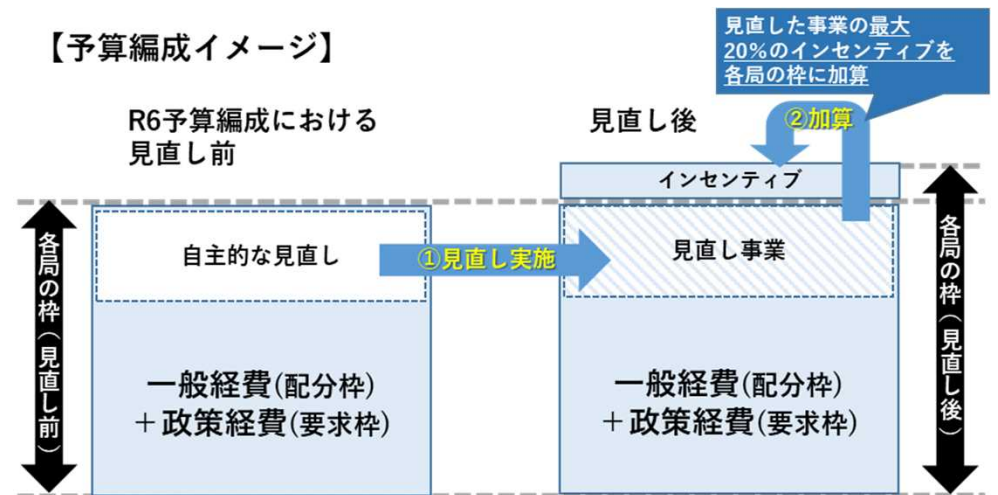
1 アクションプラン2023に掲げる取組の推進

- アクションプラン2023で掲げる計画目標を達成するための「まちづくりの取組」と、その実効性を担保する「行財政運営の取組」を着実に推進。

2 局マネジメントの推進と事業の見直し

- アクションプラン2023計画事業の着実な推進を図るとともに、各局において物価上昇等に応じた柔軟な予算編成が必要であることを踏まえ、一般経費、政策経費ともに一律の削減は行わない。
- アクションプラン2023中「財政運営の取組」において方針として掲げた「持続可能な財政構造に向けた不断の見直し」を一層促進するとともに、創意工夫による物価上昇等への対応を図るため、各局における主体的な事業の見直し・再構築に対して予算編成上のインセンティブを付与する「見直し促進枠」を設定。
- 光熱費の値上がりについて、近年の上昇傾向を踏まえ、別途必要な対応を検討し、当初予算において適切に措置。

【予算編成イメージ】



予算編成スケジュール

- | | |
|-------------------|-------------|
| 10/6(金) 予算編成方針通知 | 1/中旬 市長査定 |
| 11/1(水) 予算要求書提出期限 | 2/初旬 予算記者発表 |
| 12/上旬 予算要求公開 | |